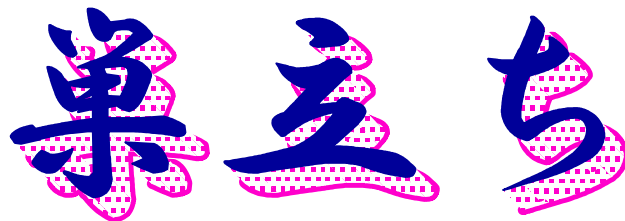


第2号

令和3年

5月28日(金)



加東市立社中学校

生徒指導通信

発行者

村上 大地

ルールを大切に

ルールでないことも大切に

学校内で、さわやかな挨拶が行き交う雰囲気が広がってきました。

新学期になってから学習や部活動、先輩としての行動にやる気を見せ、その意気込みが挨拶にも表れていた生徒がたくさんいました。挨拶が十分にできていないと感じていた生徒も、5月になって少しずつ変わってきたように感じます。廊下や階段を歩いていると、「おはようございます」「こんにちは」と、さわやかな声を聞くことが多くなりました。

その際、「さすが中学生!」と思うことがあります。中学生は、相手との距離に応じて、その場の状況にふさわしい挨拶をすることができます。挨拶のたった一言で、本当にこちらの気持ちを和ませてくれるような、さわやかで礼儀正しい所作をしてくれる生徒がいます。例えば、身体をこちらに向き直してから挨拶する生徒、しっかり目を見て声を発する生徒、近ければ声量をしぼり、やや離れていればはっきりと聞こえるように声を出して挨拶する生徒たちです。おそらく、今の時点で身についているこの行動は、大人になってからも失われることなく、円滑な人間関係づくりに役立てたり、自分自身の評価を高めることにつながったりすることになるでしょう。

しかし、学校内のすべてにそのような雰囲気が漂っているかと言えば、そうではありません。私の主観になりますが、「挨拶をする生徒としない生徒の差が大きい」と思っています。

生徒の皆さんは、挨拶のもつ意義をもう一度見つめ直し、自分の行動に反映させ実践して欲しいと思います。また、自分一人の行動が社中学校全体の雰囲気・印象をも変えるのだという意識も持ち合わせて欲しいと思います。

挨拶は、ルールで決められていることではありません。しなくても誰かに罰せられることもありません。しかし、挨拶が自然に、しかも望ましい形で行われているなら、そこには間違いなく良好な人間関係が築いていけるでしょうし、なにより自分自身の大切な「魅力」となることでしょう。

挨拶がもたらす効果や影響について、中学生の皆さんはまだ実感できないかもしれません。しかし、家族や近所の人、後輩や先輩、先生たちと、挨拶をしたりされたりしたときの心地よさは、感じたことがあるでしょう。その雰囲気をどんどん広げていき、気持ちのよい挨拶や言葉が行き交う学校をめざし、これからも頑張っていきましょう。

衣替えについて

現在、衣替えの移行期間です。(～6月5日の土曜日まで)

この期間は、気候に応じて各自で判断し、服装を整えることになっています。男子は長・半袖カッターシャツも可能ですし、女子はベストの着用も可能です。(ブラウスも可)

ただし、名札は必ずつけます。また、ハイネックアンダーシャツや部活で使用するようなTシャツは、下着として着用しません。

6月8日(火)から完全衣替えです。男子はカッターシャツ、女子はブラウスの着用になります。半袖・長袖どちらでもかまいません。

6月の重点目標

- 学習規律を高める(開始前着席・準備や挨拶の徹底・発表の充実)
- 清掃活動の徹底(5分前集合・雑巾掃除の励行・時間いっぱい取り組み)
- 部活動の充実(学習との両立・部内での高め合い・総体に向けて)